

授業科目	子ども家庭支援論					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	文屋 典子						
授業概要	現代の子育て家庭の状況と家庭を取り巻く社会的状況をとりあげ、子育て家庭に対する支援の考え方、方法、課題について解説する。子ども家庭支援施策や実施体制について理解すると同時に、多様な支援ニーズを抱える対象に対する子ども家庭支援事例等の検討を通して、子どもと家庭を支える社会資源について理解を深め、子ども家庭支援の具体的展開について考察する力を養う。						
授業形態	対面授業			授業 方法	グループワーク、ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を説明できる。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について説明できる。 3. 子育て家庭に対する支援の体制について説明できる。 4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状・課題について考察し、意見を述べることができる。
理想的レベル	現代の社会的状況と子育て家庭の状況について理解し、子育て家庭のニーズに応じた支援の展開について、多機関連携や社会資源の活用等を含めた多角的かつ多様な支援の可能性を提案することができる。同時に、子育て支援の現状・課題について自分なりの意見を述べることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	70%	学期末レポートの他にグループワークやディスカッションについてのワークシートを含む。
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	30%	グループワークやディスカッションへの参加度、発言内容等により評価する。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21612J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

授業内容についての復習	4
-------------	---

授業計画

第1回	テーマ：現代社会と子ども家庭支援 子ども家庭支援の対象、子ども家庭支援が求められる背景、子ども家庭支援の意義と必要性について解説する。
第2回	テーマ：子ども家庭支援の目標と機能 子ども家庭支援の目標と機能、保育者に求められる子ども家庭支援の独自性について解説する。

第3回	テーマ：保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 保育者の役割と専門性、保育現場における子ども家庭支援の意義と実際について解説する。
第4回	テーマ：子どもの育ちの喜びの共有 保護者の子育て力のエンパワメント、子どもの育ちを共有するための取り組みについて解説する。
第5回	テーマ：保護者及び地域の子育て実践力の向上に資する支援 親としての心理発達と保育所を利用する保護者や地域の子育て家庭に対する子育て支援について解説し、グループワークを通して実践のための企画に取り組む。
第6回	テーマ：保育士に求められる基本的態度 保育士が子ども家庭支援を実践する際に求められる基本的態度として、保護者との相互理解、対人援助の原則について解説し、事例検討とディスカッションを通して考察を深める。
第7回	テーマ：家庭の状況に応じた支援 多様化する家庭の状況と個別の状況を理解し包括的に支援することについて解説する。
第8回	テーマ：社会資源の活用と関係機関との連携 地域の社会資源を活用した保育、家庭支援の実践と関係機関との連携について解説する。
第9回	テーマ：子育て家庭の福祉を図るための社会資源 子ども家庭支援の推進体制と社会資源、社会資源間の連携・協働とネットワーキングについて解説する。
第10回	テーマ：子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 次世代育成支援対策の推進と行動計画の策定、子ども・子育て支援制度について解説し、子どもの保育の現状と課題についてディスカッションを通して考察を深める。
第11回	テーマ：子ども家庭支援の対象と内容 子ども家庭支援の対象と内容、関連事業や関連施設について解説する。
第12回	テーマ：保育所等を利用する子どもの家庭への支援 保育所の特性を生かした子育て支援の内容と方法、保育所における家庭支援の実際と保育所が果たす役割について解説する。
第13回	テーマ：地域の子育て家庭への支援 地域子ども・子育て支援事業、子育て支援とソーシャルワークの視点・方法について解説する。
第14回	テーマ：要保護児童とその家庭への支援 要保護児童とその保護者・家庭の状況について解説し、事例検討を通して保育の専門性の活用や関係機関との連携による支援について考察を深める。
第15回	テーマ：子ども家庭支援に関する現状と課題 家族の多様化と子育て家庭を取り巻く現状と課題、子ども家庭支援実践のための協働と連携について解説する。
テキスト	MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 4 「子ども家庭支援」 編著：倉石哲也・大竹智 ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書やデータベースは授業の中で紹介します。

課題に対するフィードバックの方法	提出物にはコメントをつけて返却する。また、記述内容を授業の中で共有し、他者の視点や考え方から学ぶ機会とする。
学生へのメッセージ・コメント	<p>子ども家庭福祉に関する施策制度とサービス、保育士の専門性、ソーシャルワークの理論についてこれまで学んできたことを整理し、理解しておきましょう</p> <p>制度やサービスの現状について理解することはもちろん、新聞などにも目を通し、子どもと家庭を取り巻く社会状況において「今、何が起こっているか」に常に関心を向けていくことが大切です。また、関連省庁が公表している統計や白書などを通してデータを把握し、データに基づいた考察を行う習慣を身につけましょう。</p>

